

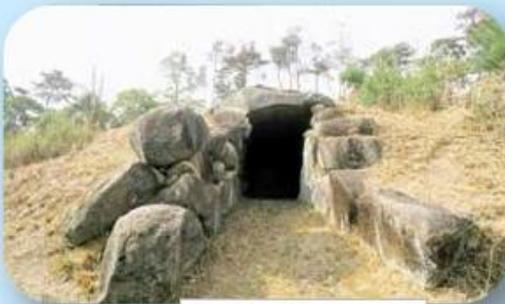
湯田学区 まちづくり計画



～住みつづけたい
心がかよう 湯田のまち～



要害山山頂から



迫山第1号古墳



菅茶山記念館

2015年（平成27年）6月
湯田学区まちづくり推進委員会

ゆだの 名所・史跡・常夜燈



名所・史跡

- 箱田良助の碑
- 徳永徳右衛門の碑
- 宝泉寺 (菅茶山詩碑)
- 要害山
- 徳田天満神社
- 山王山
- 日枝神社
- 東福院 (菅茶山詩碑)
- 大宮遺跡
- 赤堂
- 迫山古墳 (県史跡)
- 湯野城之内館跡
- 菅茶山記念館

常夜燈

- ① 湯野迫山 (本湯野)
- ② 沖湯野清流神社 (沖湯野)
- ③ 湯野豊久保 (豊久保)
- ④ 久貝大ずり (久貝)
- ⑤ 秋丸大ずり (秋丸)
- ⑥ 箱田川西 (箱田川西)
- ⑦ 徳田大上 (徳田三番)
- ⑧ 徳田青木橋 (徳田二番)
- ⑨ 原七つ石神社 (徳田三番)
- ⑩ 川西八幡宮 (徳田四番)
- ⑪ 徳田砂原池 (徳田四番)

目 次

- はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

- 1 湯田学区の概要・・・・・・・・・・・・ 1

- 2 まちづくりの基本計画・・・・・・・・ 2～3

- 3 まちづくり部会別行動計画・・・・ 4～8

- 4 まちづくりアンケート調査集約・・・ 9～13

はじめに

湯田学区まちづくり推進委員会 委員長 市川 勇

福山市においては、協働のまちづくり事業を更に推進するため「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を策定し、自主・自立のまちづくりに向けて取り組んでいます。

湯田学区においても、自治会（町内会）や各種団体を中心とした「まちづくり推進委員会」を組織し、キーワード事業を基に活動しました。その成果をさらに発展させるために「湯田学区まちづくり計画」の策定にあたり、学区の皆様のご意見を反映させるべく、アンケート調査を実施しました。湯田学区まちづくり推進委員会に対する気付きやご意見を多数寄せて頂きありがとうございました。感謝申し上げます。一人ひとりの考えやつぶやきを大切に、これからも住みたいまち・住んでよかったと実感できる、明るく安心・安全なまちづくりをめざして取り組んでまいります。委員をはじめ、住民の皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。

1 湯田学区の概要

湯田学区は、福山市中心部より北東約 8 km に位置し、13 の町内会で構成され、学区内の世帯数は、4,377 世帯、人口は、11,420 人です。（2014 年 3 月末）

かつては水田が広がる田園地帯であったこの地区も、徳田・湯野両地区の土地区画整理事業の完了、国道 486 号の開通、隣接地への大型商業施設の進出などにより、急激な都市化が進んでいるところです。

神辺町の中央に位置する湯田学区は、そのほとんどは、かつての湯田村に当たり、1889 年（明治 22 年）に湯野村、箱田村、徳田村が合併して誕生したものです。

学区内には、数々の史跡があります。弥生時代の環濠集落として有名な大宮遺跡、古墳時代の迫山古墳群（第一号古墳は県史跡で、その出土品は県重要文化財）があります。また、戦国時代に山城が築かれ、山頂に土塁が残る要害山などです。

また、歴史的に有名な人もいます。江戸時代、百姓一揆を指導し一人の犠牲者も出さず、一揆を成功に導いた徳永徳右衛門は、義民と称えられています。伊能忠敬の測量隊の中心的役割を担い、榎本武揚の父である箱田良助は、箱田村の出身です。

芸術の分野では、福山市名誉市民である日本画家の金島桂華が挙げられます。明治 25 年湯野村の生まれで、花鳥画を得意とし、数多くの芸術賞を受賞されています。このように多くの文化人を輩出した地域と言えます。

地理的に見れば、国道 486 号、福塩線、井原線が通り、交通の便がよく、平地が多く、なだらかな山は緑豊かで、今後ますます発展していくと思われれます。

教育施設としては、保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校、高等学校があり教育環境にも恵まれています。地域の教育力を住民の努力で培っていくことが重要となります。

こうした湯田学区の地理的・歴史的・社会的条件の良さを生かしていくまちづくりが求められています。

2 まちづくりの基本計画

(1) 計画策定の趣旨

2006年(平成18年)福山市との合併にともない「湯田学区まちづくり推進委員会」が組織され、9年が経過しました。この間取り組んできた各種事業・活動も地域の皆さまの協力を得ながら一定の成果を得ているところです。さらに、安心・安全で住みよい地域社会を実現するために、「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を基本に、「湯田学区まちづくり計画」を策定することになりました。

2013年12月にまちづくり推進委員会を主体に各種団体で構成する「湯田学区まちづくり計画策定委員会」を設置し、これまでの成果や課題を検証し、主役である地域の皆さまの意見を集約し、まちづくりの方向性や将来像を明らかにするために、全世帯対象にアンケート調査を行いました。

湯田学区においては、これからの活動の柱として、「教育」「環境」「福祉」「活力」「安心・安全」の5部会を設け、人権を尊重し、お互いが助け合い・支えあい、安心・安全に暮らせるまちづくりをめざして、この基本計画を策定することにしました。

(2) アンケートから見る湯田学区の現状と課題

現在、学区を取り巻く環境は、市街化区域による宅地化や商業地化、交通の利便性の良さ等から、他地域からの「若い世代」層を中心とした転入者の増加により人口は増加傾向にあります。

その影響により、小学生児童も急増し、学級数29学級と市内でも有数のマンモス校となっています。子どもたちが、安心・安全に遊べる広場や空間の確保や、事故や犯罪に巻き込まれないための防犯パトロール等の必要性が高まっています。

学区における高齢化率は他地域に比べると高くありませんが、高齢化は確実に進展しています。高齢者にとっても、安心して過ごせる暮らしやすいまちづくりが求められています。東日本大震災という未曾有の大災害や広島土砂災害を教訓に、学区民の防災・減災意識を向上させ、災害に対応できる組織づくりも求められています。

住みよいまちづくりのため、環境美化活動や環境にやさしいエコ活動推進も学区全体で取り組む必要があります。

また、急激な人口増加にともない価値観の相違や、生活様式の多様化、核家族化の進展、隣近所の間関係の希薄化によるコミュニケーション不足等、今後、様々な問題に直面すると考えられます。

以上、学区においてもいろいろと課題が明らかになりましたが、みんなが安心して住める地域を創るために、地域の繋がり、結びつきの重要性を再認識し、地域コミュニティの再構築を学区全体で取り組む必要があります。

学区全世帯で実施したアンケート(回収率89%)調査でいただいた意見を基に、学区の課題を5つの部会に分類し、それぞれの部会で検討協議した結果、次のとおり取り組みの方向性を決定しました。

(3) まちづくりの目標

～住みつづけたい
心がかよう 湯田のまち～

(4) 計画目標

基本的には5年を目途として取り組みます。ただし短期・中期・長期目標を設定し、すぐにできるものは単年度で、時間のかかるものは中長期として取り組みます。

① まちづくり基本体系

- イ 自助 住民自ら主体的に取り組むもの
- ロ 共助 住民どうしが地域で協力し合って取り組むもの
- ハ 公助 私たちだけでは難しく行政の支援が必要なもの

② 目標年次

この計画は、2019年度（平成31年度）を目標とし取り組む。
目安として次の期間を設定します。

※短期：2015年度～2017年度（3年間）

中期：2015年度～2019年度（5年間）

長期：2015年度～長期継続的に取り組む（継続）

③ 部会別スローガン

- | | |
|---------|------------------------------|
| 教育部会 | 『みんなであいさつ元気な湯田っ子！目指せ交通事故ゼロ！』 |
| 環境部会 | 『地域と行政が協力・ゴミ分別の向上と不法投棄の撲滅』 |
| 福祉部会 | 『「おたがいさま」の心で絆を深めるまちづくり』 |
| 活力部会 | 『活気ある「まち」誰でも集えるゆだの里』 |
| 安心・安全部会 | 『災害・事故・被害ゼロのまち湯田の実現』 |

3 まちづくり部会別行動計画

① 教育 部会

『 みんなであいさつ元気な湯田っ子！ 目指せ交通事故ゼロ！ 』

*重点目標

- 1 学区内外でのあいさつ運動《☆あいさつは 心のドアを開くカギ☆》
- 2 児童・生徒のヘルメット着用
- 3 第2回安全マップ作成（各町内会）
- 4 交通事故0作戦

事業名及び事業内容	誰が行うか		目標達成期間		
	住 民	協 働	短 期	中 期	長 期 (継続)
危険通学路の点検及びマップ作り	○	福山市	○		
ヘルメット着用（自転車）促進運動 及び講習会	○	福山市	○		
史跡や古墳の案内板設置及び歴史講座	○	福山市	○		
あいさつ運動（声かけ）	○				○
研修会	○				○
青少年育成 PTA 合同見守り	○				○
伝統文化の継承（湯田音頭）	○				○



【湯田音頭継承】

湯田学区民体育大会では、小・中学校の生徒が一緒になり湯田音頭を踊り伝統文化の継承に努めています。

② 環境 部会

『 地域と行政が協力・ゴミ分別の向上と不法投棄の撲滅 』

*重点目標

- 1 快適な環境のまちづくり
行政と住民の協働で川，用水路の清掃活動を行います。
- 2 地域と子ども会とが連携し，清掃活動「クリーン作戦」を行います。
- 3 ゴミ分別講習

事業名及び事業内容	誰が行うか		目標達成期間		
	住 民	協 働	短 期	中 期	長 期 (継続)
ゴミ分別によるゴミだしの改善 各町内会でゴミ分別講習会の実施	○	福山市		○	
犬，猫の糞の処理の徹底 飼主にマナー啓発のチラシの配布	○	福山市	○		
ゴミのポイ捨ての撲滅 ポイ捨て防止看板の取り付け	○	福山市	○		
不法投棄防止看板の取り付け 不法投棄場所の巡回パトロール	○	福山市		○	
盆踊り大会でのゴミ分別の指導 (公衆衛生)	○				○
各町内会での一斉清掃	○				○
家庭からのエコ活動	○	福山市			○



【ゴミ分別講習】
ゴミの出し方を学習し，分別の啓発に
取り組んでいます。

③ 福祉部会

『 「おたがいさま」の心で絆を深めるまちづくり 』

*重点目標

- 1 高齢者・障がい者との交流や生きがいつくり
- 2 災害時、非常時における避難行動要支援者対策の体制づくり

事業名及び事業内容	誰が行うか		目標達成期間		
	住民	協働	短期	中期	長期 (継続)
高齢者、障がい者との世代間交流事業の推進	○			○	
気軽に立ち寄れる場所作り（サロン）の準備及び開設	○	福祉協議会			○
高齢者の食生活改善推進事業	○	福山市		○	
給食及び配送支援	○	各団体			○
災害時、非常時における避難行動要支援者の体制づくり（75歳以上）	○	福山市		○	
子育て相談、子育てサロン事業の推進	○	福山市			○
お出かけ支援事業の体制づくり	○	福山市	○		
ボランティア育成事業	○			○	



【お年寄りへの弁当作り】
すこやか給食の方が作り、
民生・児童委員が配布して
います。

【夏休みの交流会】
各町内別に、ラジオ体操で心も体
もリフレッシュしたあと、子ども
たちと一緒に楽しんでいます。



④ 活力 部会

『 活気ある「まち」誰もが集えるゆだの里 』

*重点目標

- 1 活力に満ちたまちづくり・人づくり
- 2 文化祭など，芸術・文化・芸能活動を通して地域を活性化します。
- 3 住民が参加しやすく，楽しく，魅力ある行事内容にします。

事業名又は事業内容	誰が行うか		目標達成期間		
	住 民	協 働	短 期	中 期	長 期 (継続)
学区民体育大会	○	体育会			○
学区盆踊り	○	各団体			○
グラウンドゴルフ大会 世代間	○				○
ウォーキング大会 世代間	○				○
文化祭 (保・幼・小・中高生との連携)	○	各団体			○
学区合同ラジオ体操	○				○
各種講演会	○	福山市	○		
ユニカール大会 世代間	○	体育会		○	
夏休み，子ども支援活動	○	公民館			○



【湯田学区民体育大会】

学区住民が集まり，歓声が響きわたり大盛況ぶりです。



【学区合同ラジオ体操会】

学区民一斉に，ラジオ体操で気持ちも体もリフレッシュしています。

⑤ 安心・安全 部会

『 災害・事故・被害ゼロのまち湯田の実現 』

*重点目標

- 1 隣人同士の助け合いが出来るようなコミュニケーション機能の活性化
- 2 危険個所のチェックと防災・防犯意識の高揚

事業名及び事業内容	誰が行うか		目標達成期間		
	住 民	協 働	短 期	中 期	長 期 (継続)
避難場所や経路の確認周知	○		○		
自主防災訓練への参加促進	○	各団体 消防署			○
近隣住民とのコミュニティー機能の再生・強化	○				○
住宅用火災警報器の取り付け啓発	○		○		
初期消火訓練（消火器）	○	消防署 消防団			○
地域安全パトロール	○			○	
交通ルール・マナーの学習会 （交通安全意識の向上促進）	○	警察署			○
危険個所のチェックと対策	○		○		
防犯灯の維持・管理	○	各町内会			○

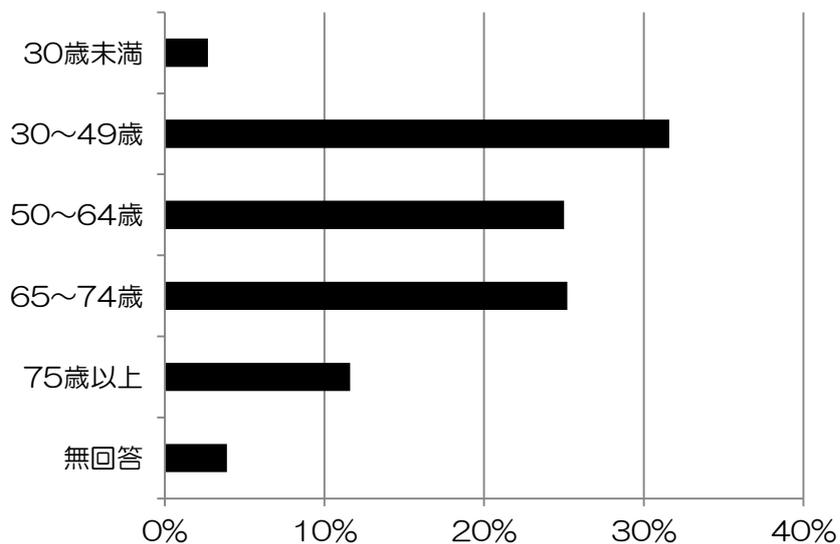


【湯田学区自主防災訓練】
地域全体が、防災意識を高める訓練を行っています。



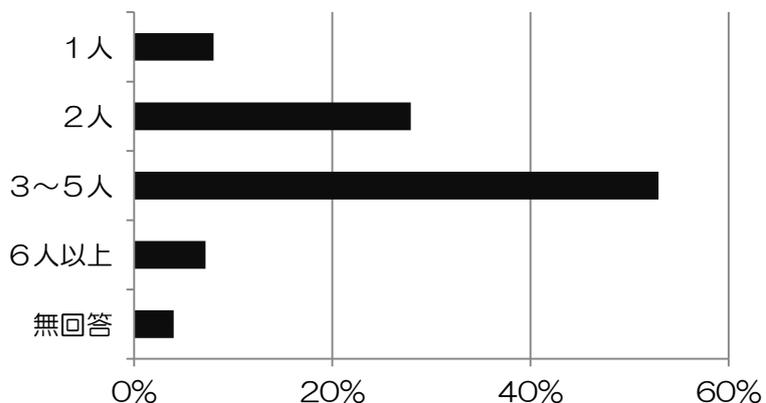
4 まちづくりアンケート調査集約

◆◆◆ あなたの年代は



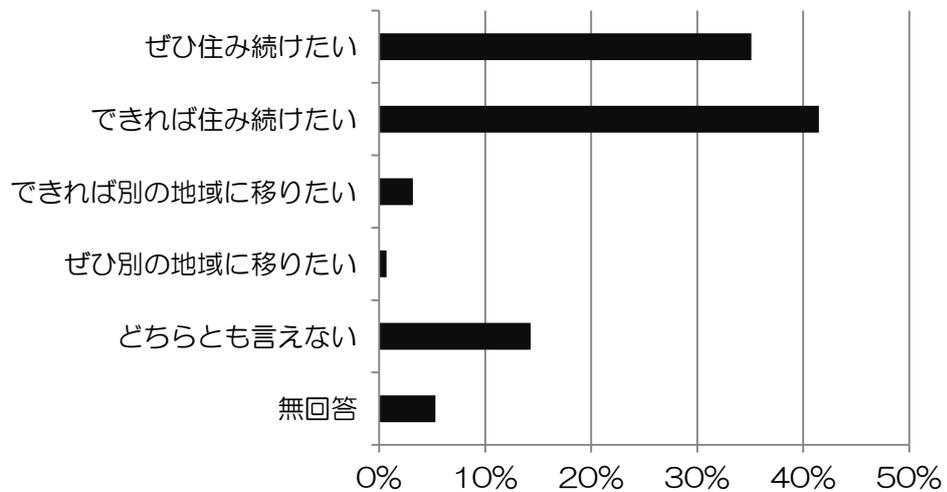
各年代からほぼ均等に得られました。49歳以下が34%で若い世代の多くの意見をいただきました。

◆◆◆ あなたの家族は



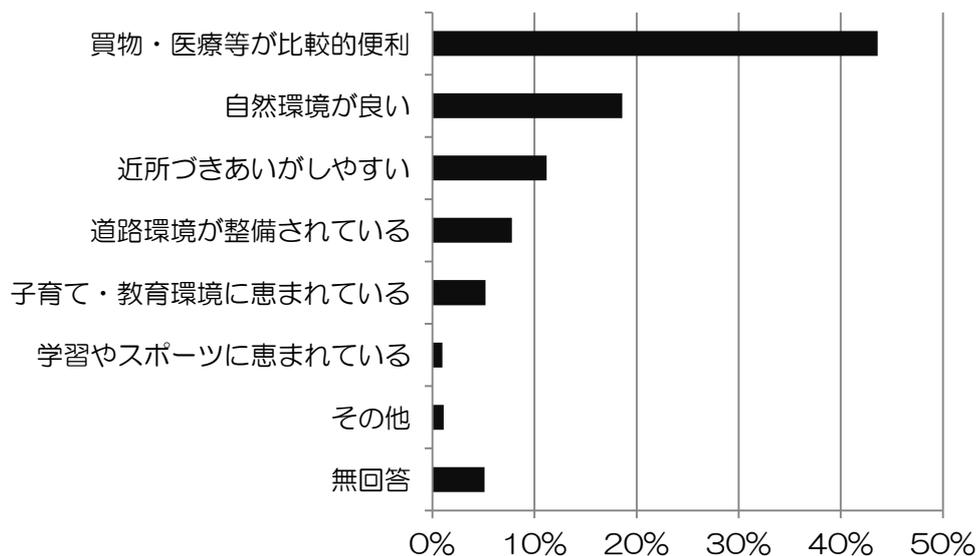
3～5人の世帯が53%と高い比率を示しており、子育て世帯や二世帯世帯が多い状況が伺えます。反面一人あるいは二人世帯も35%を占めており、今後高齢化に向けて課題となることも考えられます。

◆◆◆ これからも家族で湯田学区に住みたいですか



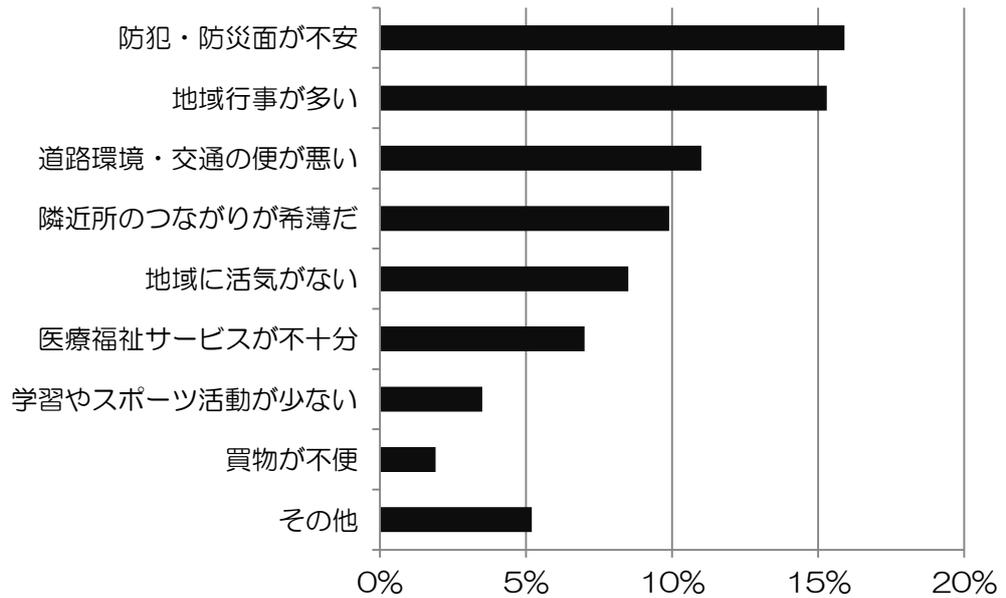
「ぜひ住み続けたい」「できれば住み続けたい」があわせて76%で、住み続けたいと考えている人が多数を占めています。

◆◆◆ 湯田学区が住みよいと思うことはなんでしょう



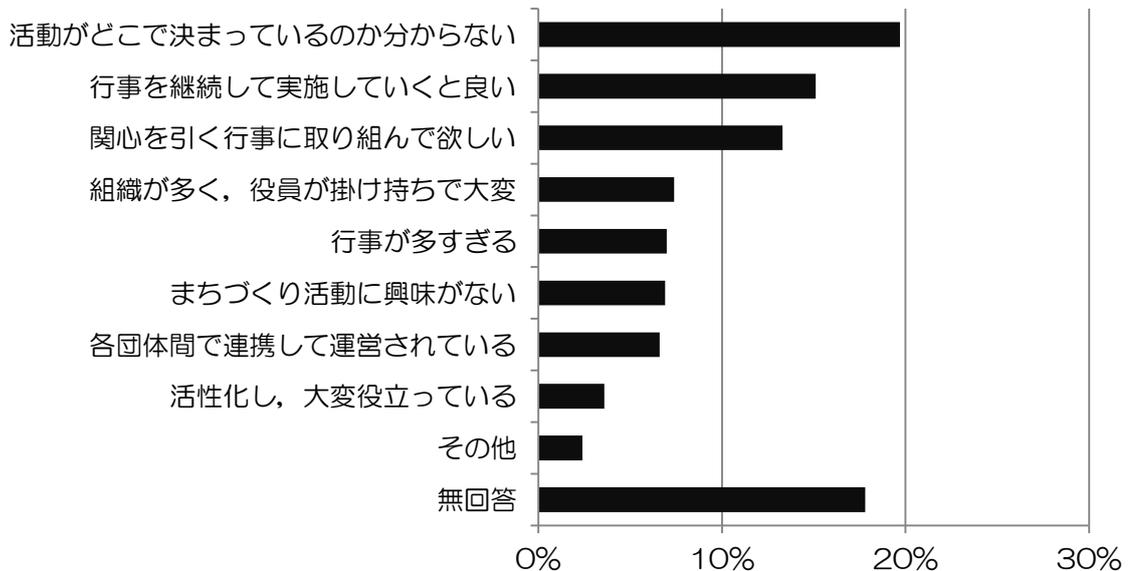
住み続けたい理由として、買い物や病院などの生活の利便性や自然環境の良さ、近所付き合いの良さなどが挙げられています。

◆◆◆ 湯田学区が住みにくいと感じることはなんでしょう



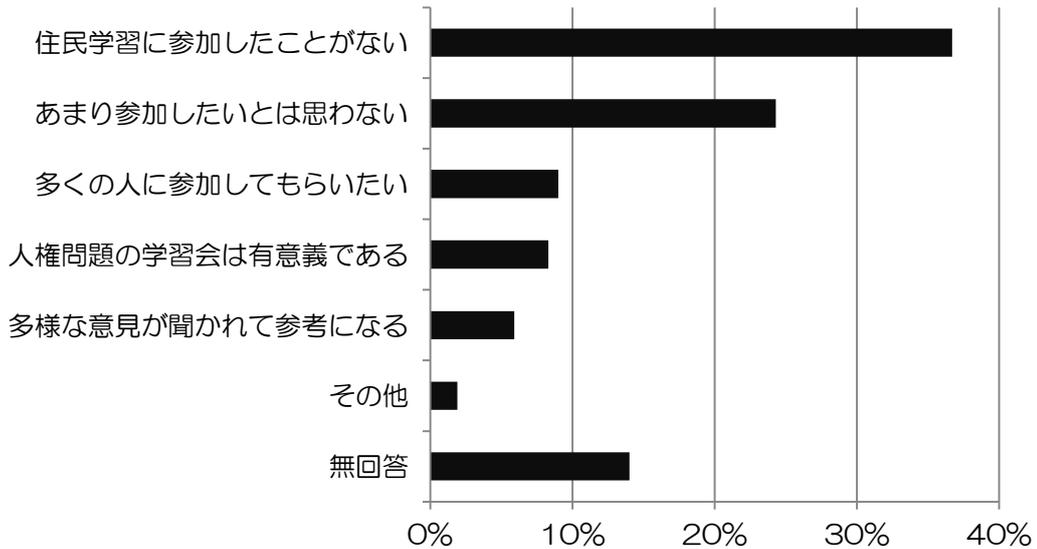
住みにくいと感じるものとしては、「防犯・防災面が不安」「地域行事が多い」「道路環境・交通の便が悪い」「隣近所のつながりが希薄だ」「地域に活気がない」などが高い数値を示しています。今後のまちづくりの課題を示すものとして考えられます。

◆◆◆ 湯田学区のまちづくり活動をどう思われますか



活動を支持している回答が26%ある反面、「活動がどこで決まっているのか分からない」「興味がない」という回答があわせて29%あり、活動の周知や組織づくりが必要性です。また、「関心を引く行事に取り組んでほしい」などの要望を取り入れ、より多くの人に参加できるような企画の工夫が必要と考えられます。

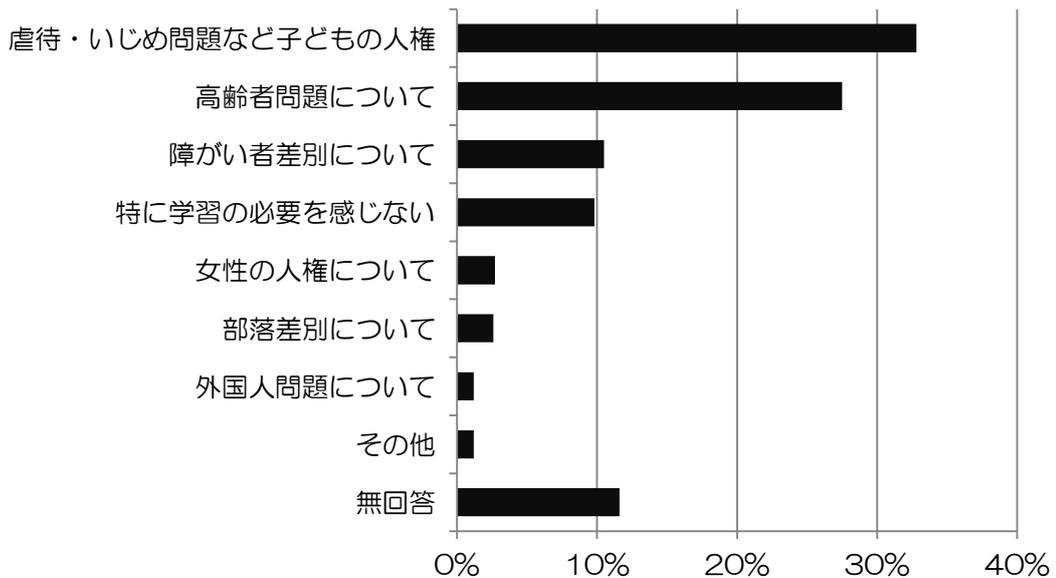
◆◆◆ 毎年住民学習が行われていますが、どう思われますか



「住民学習に参加したことがない」「あまり参加したいとは思わない」が合わせて60%もあり、これまで以上の取り組みが必要です。

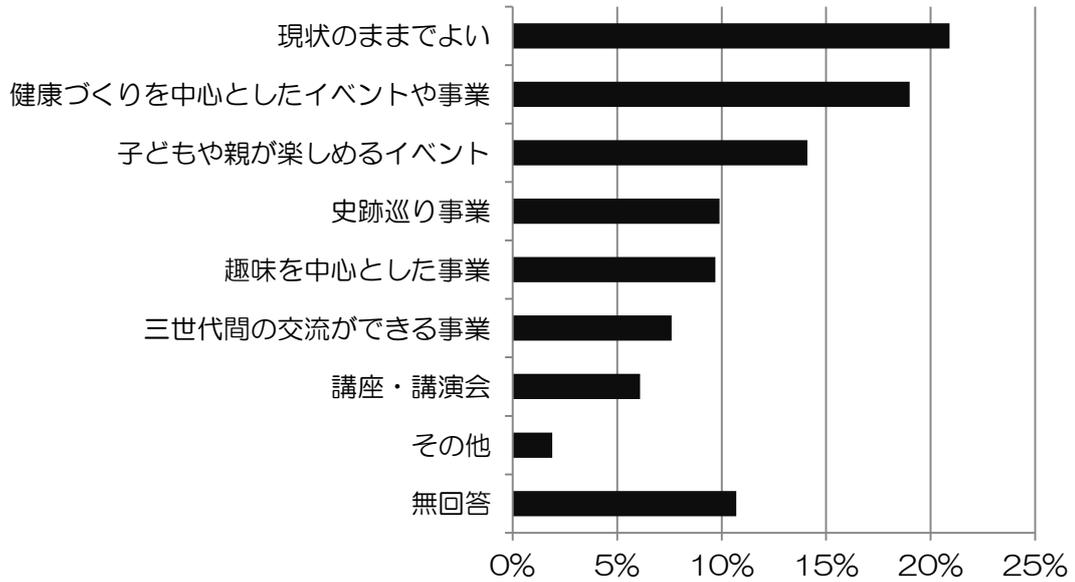
「人権問題の学習は有意義」「多様な意見が聞かれて参考になる」「多くの人に参加してもらいたい」を合計すると23%となり、これらの肯定的な意見をもとに様々な人権問題について、自分たちの生活とのかかわりの中で考え、広げていくことが必要と考えられます。

◆◆◆ 人権問題について特に学習すべきだと思われるものをお答えください



「虐待・いじめなどの子どもの人権問題」「高齢者問題」「障がい者問題」に関心がよせられています。弱い立場の人たちの思いを受け止め人権文化が根づいた地域づくりを工夫していくことが必要と考えられます。

◆◆◆ 湯田学区にどんなイベントや事業があれば良いと思われますか



「現状のままでよい」とする回答が21%ですが、活力ある地域にするために、現状の活動に留まらず、地域の人々のニーズに合うイベントになるよう、意見を取り入れ実施していくことが必要と考えられます。



皆様には、アンケートのご協力をいただき
ありがとうございました





昭和30年ごろの湯田小学校

現在のテニスコート

湯田音頭

一 湯田は田どころ田ごとの麦が
もえりやひばりの歌声のどか
汽車や電車でゆきぎの人も
春はうらうら 夢心地

二 工場湯田村夏空高く
乾した糸からおり出す錦
乙女心の一すじこめて
立てて見せましょ 村の幸

三 祭だいのひびきにゆれて
湯田のたんぼは黄金の穂波
刈ってこなして秋空高く
つめば笑顔の 俵山

四 備後国府の跡ありありと
今も伝える方八丁よ
冬は赤堂の酒つくり唄
青葉の味も ほのぼのと

五 湯田はよいとこ平和の里よ
いつもここにこやさしい心
村もさかえるよい子も育つ
育つ子宝 村の幸

作詞 北川 勇
作曲 高橋 敏唯
一九五三年（昭和二十八年）
二月作成



二宮金次郎像設置
湯田小学校開校
一〇〇周年記念で再出現
（現在小学校校舎前）



空からの湯田学区



徳永徳右衛門の碑



箱田良助顕彰碑

湯田学区まちづくり計画

2015年（平成27年）6月

発行：福山市湯田学区まちづくり推進委員会